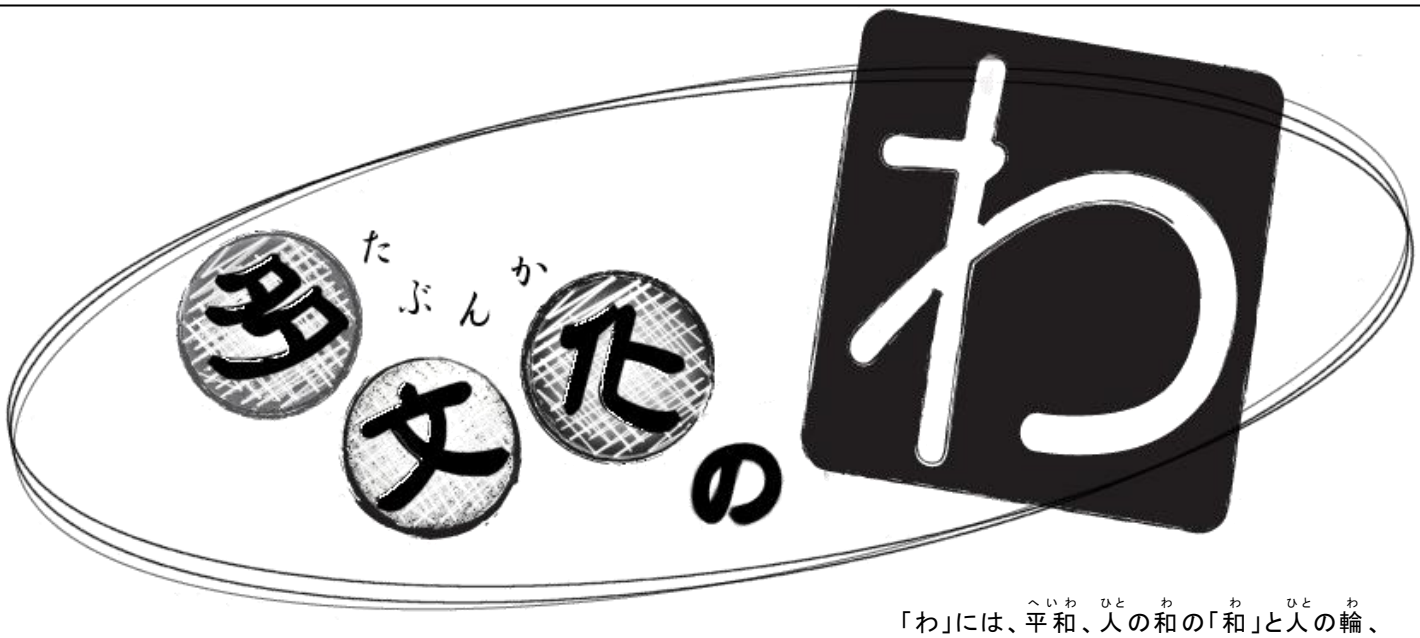
Vol.21
2018夏号

NPO法人　西東京市多文化共生センターだより

Nishitokyo Multicultural and International Center News



「わ」には、平和、人の和の「和」と人の輪、
地域の輪の「輪」が込められています。

CONTENTS

●NIMIC2018年度の事業始まる
●「世界ともだちプロジェクト」2年目スタート
●イベント報告
・多文化体験with Kids
・多言語で楽しく！
●土日プロジェクト
・田無神社例大祭ツアー
・江戸東京たてもの園見学
●NIMIC掲示板
・ことしは「西東京多文化フェス」を開催
・多文化共生センターへのアクセス

多言語で楽しく！

江戸東京たてもの園見学

NIMIC2018年度の事業が始まりました

5月13日（日）、NIMICの通常総会がコール田無2階イベントルームで開催されました。2017年度の事業報告に続いて、2018年度の事業計画および予算が原案どおり承認され、2018年度の事業がスタートしました。

「国際化理解のために、外国人支援のために、多文化共生に向けての活動活性化のために」の基本方針のもとに今年度も事業が計画されましたが、「西東京多文化フェス」のような新しい事業も計画されています。

2018年度の主な事業は以下のとおりです。

【NIMIC2018年度の主な事業】　（○＝自主企画事業、●＝受託事業、☆＝新事業）

1．国際化理解のための事業

○留学生ホームビジット　6月24日（日）
○多文化体験with Kids（年1～2回）
○在住外国人の日本語スピーチコンテスト　10月7日（日）
○多文化サロン（年数回）
○子ども対象多言語で遊ぶプロジェクト　2019年3月9日（土）
●世界ともだちプロジェクト（5月12日～2019年2月）　＊詳しくは3ページをご覧ください。
○☆西東京多文化フェス（寄付事業）：「浴衣で夏祭り」「サリーを着て楽しむインドの女子会」
＊6ページをご覧ください。

2．外国人支援のための事業

○子ども日本語教室（小学3・中学1教室）
○ホームページの多言語化
●多文化共生センターの運営
●「くらしの情報」多言語版
●通訳ボランティア派遣、多言語翻訳

3．多文化共生へ向けての活動活性化のための事業

●日本語ボランティア対象フォローアップ講座

ことしも「会員交流会」を開催

今年度も総会終了後、出席の皆さんによる会員交流会が開催されました。主に入会後間もない会員の方々が活動に具体的に参加、活動されるために情報交換の場として設けられたものです。実際の事業例とその事業に参加した感想が14人の方から紹介されました。昨年度の「土日プロジェクト」のようにこの会員交流会から新しい活動が生まれることが期待されます。

「総会後の会員交流会」

２年目がスタート「世界ともだちプロジェクト」

東京都では、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて大会参加予定国・地域を幅広く学び、国際理解を深めるための取り組み「世界ともだちプロジェクト」を行なっています。NIMICは、西東京市から委託され、2017年度には、市内15校（18日間）で、授業を行いました。今年度は希望校が増え、21校からの依頼があり、２８日間の実施予定です。

このプロジェクトでは、各校に、対象として五つの国と地域が指定されています。それらの指定通りに講師をお願いできた学校もあれば、他地域の方が授業された学校もありました。結果として、昨年は、世界15か国の方に講師としてご協力をいただいています。

授業では「フォトランゲージ」という手法を用いています。これは、初めて見る１枚の写真をもとに意見を出し合う授業のスタイルです。使われた写真の内容は、講師が生まれ育ったところでなじみある食べ物、人々、イベント、景勝地などでした。子ども達にとっては見慣れないけれど、その国ではとても有名であったり、講師の方の大切な思い出につながるものなのだという話を聞く子どもたちの表情は、とてもキラキラしていました。

授業後には、必ず感想文を書いてもらうようにお願いしています。外国人と初めて対話したという喜びや、写真から予想したことと実際との違いへの驚きといった素直な言葉の向こうに、講師の人柄に触れた楽しさが垣間見えます。それは「〇〇人だから××」といったステレオタイプを超えて、人と人とが触れ合ったからこそ伝わったことなのでしょう。

今年度の世界ともだちプロジェクトは、5月12日に、小学校１校・中学校１校でスタートしています。昨年に続いての参加となる子どもたちもいれば、初参加の子どもたちもいます。それぞれにどのような感想を持ち、そして、大人になった時にどんな形でこのプロジェクトのことを思い出すことになるのでしょうか。

子どもイベントも盛況♪

多文化体験with Kids

乳幼児をもつ家族にさまざまな国の文化を体験してもらうイベント「多文化体験with Kids」。11月23日（日）にイングビルで行われた第５回目のテーマは「いろんな国の音で遊ぼう」。参加は親子9組（大人13人・子供11人）でした。

会場にはカリンバ・アサラト・ギロ・パンフルート・リコーダー４種・でんでん太鼓など、各地の民族楽器を展示し、実際の音を聞いてもらいました。特にレインスティックは、ゆめこらぼ職員の方からお借りした本物の音に「雨が降っているようだ」と感心した後で、紙筒を使ってミニ版を製作。動物カスタネットと卵型マラカスも作り、世界の音を自宅に持ち帰ってもらいました。

昨年度からお願いしている楊智二胡楽団の皆さんの演奏には今回も聴き惚れました。

今までは多言語で行なってきた絵本読み聞かせですが、今回は日本語のみ。その代わり、アフリカの音についての絵本を、実際の太鼓（ジャンベ）を叩きながら読みました。

最後には、作った楽器を使って、全員で「幸せなら手をたたこう」を演奏し、幸せな気持ちで散会しました。

今年度も、大人が面白い・子どもが楽しいと感じられるイベントを開催したいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

多言語で楽しく！

年少から小２の子どもたち対象の人気プログラム「多言語で楽しく！」を、3月10日（土）にきらっとで行いました。

今年は「はらぺこあおむし」をテーマに、色、果物、数字を各言語で学び、絵本の読み聞かせやビンゴなどを楽しんでもらいました。最後には保護者もスタッフも一緒に、大きな輪で Hokey Pokey を踊りました。

第12回となった今回は、53名の子どもたちが参加。講師には、中国語１名（中国）と、英語３名（オランダ・フィリピン・インドネシア）をお願いしました。保護者プログラムへは 27名の参加があり、ボランティアスタッフ17名と市役所担当者2名を加えると、102名が集った大イベントとなりました。

隣室で行われた保護者プログラムでは、やさしい日本語への翻訳挑戦を初めて取り入れ、その難しさを多くの方に体感していただきました。また、展示内容などを熱心にご覧になった方が例年より多かったようです。

一昨年までの「英語で楽しく」を、昨年からは中国語も加えての「多言語で楽しく」として行っています。今年の中国語参加者は、昨年の倍になったとか。これから先がまた楽しみです。

「土日プロジェクト」活動中

皆さんはNIMICの「土日プロジェクト」をご存知でしょうか。昨年（2017年）からスタートしたこのプロジェクトについてご紹介したいと思います。プロジェクトのリーダー格の高橋二朗さんにお聞きしました。

―Q:「土日プロジェクト」とはどのようなものですか？

A: NIMICの会員で、平日は仕事の関係などでなかなか活動が出来ないが、週末の土日ならできそうといったメンバーの集まりです。

―Q: 生まれたきっかけは？

A: 去年（17年）のNIMICの総会後の会員交流会で、特に最近入会された何人かの方々が、「なかなか平日に活動は出来ないが、週末ならできそう、そういう活動グループができないか」という希望を出されたのがきっかけで、それ以降皆さんに声をかけて集まり、地域の外国人を対象にイベントを実施しています。

「田無神社例大祭ツアー」

―Q: 17年度はどんな活動をしましたか？

A: 「田無神社例大祭ツアー」と「江戸東京たてもの園見学」です。

―Q: プロジェクトメンバーは現在何人ですか？

A: 3月末で、10名です。

―Q: 活動されているメンバーの方々の声は？

A: 今回（3月）「江戸東京たてもの園見学」でも、参加者を4−5人ずつのグループに分け、通訳付きで案内するという熱心さです。それでも当日の園主催のイベント（スタンプラリーや風車づくりなど）をもっと事前に調べておけばもっと楽しんでもらえたのに・・・、といった声も出ました。

―Q: 18年度はどんな計画ですか？

A: 今メンバーの方と協議しているところですが、昨年実施の2イベントに加えて「浴衣で夏祭り」を計画しています。地域に住む外国人の方々がもっと日本文化を知って、西東京市の地元で市民として共に楽しく生活できるように活動を続けたいと思っています。

【17年度の活動紹介】

1.「田無神社例大祭ツアー」

日時：17年10月14日（日）　参加外国人：11名（日本語教室に通う方々など）日本人スタッフ：16名

内容：神社の境内では、“手水”や“参拝”も伝統的なやり方で行ない、「正式な所作ができ、お祭りも楽しかった」という感想がありました。また土日プロジェクト初めてのイベントでしたので、外国人への周知や参加者の保険手続きなど初体験が沢山ありました。

2.「江戸東京たてもの園見学」

日時：18年3月24日（土）　参加外国人：18名（日本語教室から10名、武蔵野大学6名、NIMIC会員紹介2名）日本人スタッフ：16名（このうちプロジェクトメンバー9名）

内容：好天に恵まれ桜も咲き始めた園内の4−5施設を見学。各班とも通訳付きで見学しましたが、もっと詳しく説明すればもっと楽しめたなどの意見がプロジェクトメンバーからありました。

「土日プロジェクト」は活動し始めて1年。今後も活動を広め、深めていきますので、「週末なら活動できそう」というNIMIC会員の皆様はぜひこの活動にご参加下さい。ご連絡は高橋さん（info@nimic.jp）までお気軽にどうぞ。

♪NIMICの会員になりませんか♪

会員になると・・・

- NIIMIC の主催講座やイベントに会員価格で参加できます。
- NIMIC主催イベントなどを実行委員として一緒に作っていくことができます。
- 広報誌「多文化のわ」の他に、月刊メールマガジンをお送りします。

年会費

- 個人・団体：2000円（学生は 1000円）
  家族会員制度もあります。入会金はありません。

★入会お申し込みは、ホームページ 上 で手続きができます。
または、事務局info@nimic.jp にご連絡いただけば、ご案内いたします。

ことしは「西東京多文化フェス」を開催

NIMIC は多文化共生につながるいろいろな活動を行なってきましたが、今年から新しいイベント「西東京多文化フェス」がスタートします。今年度は「ゆかたで夏祭り」と「サリーを着て楽しむインドの女子会」の２つのイベントが開催されます。地域に住む外国人の皆さんが日本文化を楽しんだり、日本人の皆さんが異文化を楽しむ交流イベントです。この活動は NIMIC の活動の中で、外国人と日本人の交流をより活発に進めていこうとするものです。

なお、この交流事業には「SOMPO ちきゅう倶楽部」から活動助成金を受けることなり、3月27日に助成金授与式が市内の SOMPOビジネスサービス㈱で行われました。

「SOMPO ちきゅう倶楽部」は SOMPOホールディングスのグループ会社の社員で構成されるボランティア組織で、全国各地でボランティア活動の支援などの社会貢献事業を行なっています。

「他団体や SOMPO の皆さんとともに」

にしとうきょうしたぶんかきょうせいせんたー
西東京市多文化共生センター
〒188-0012
東京都西東京市南町5-6-18
イングビル1F
【窓口時間】
月曜日～金曜日　10：00～16：00
（12：00～13：00はお昼休み）
【電話/FAX】042-461-0381
【E-mail】info@nimic.jp
URL：http://www.nimic.jp/
＊西武新宿線田無駅南口徒歩2分
JA並び

広報誌「多文化のわ」Vol.２１
2018年6月1 日発行
編集・発行
NPO法人西東京市多文化共生センター
〒188-0012西東京市 南 町 5-6-18
市民協働推進センター内mailboxNo2

＊＊＊編集後記＊＊＊

・今号からおかげさまでカラー印刷になりました。お届けする内容も豊かになるよう、頑張ります。（MT）

・カラーで作れるなんて、第一号の時には思ってもみませんでした。ビバ21号★（YT）

・カラーになり色使いのセンスが問われる編集(-_-;)良い感想が聞けるといいなあ…（YN）